

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆設備投資額8%分の法人税圧縮 経産省の減税案、関税影響なら15%

・経済産業省は2026年度の税制改正で要望している大規模な設備投資減税の原案をまとめた。投資の規模や収益性に応じて投資額の8%を法人税額から差し引く税額控除を設ける。米国の関税措置の影響で対米輸出が減少する場合は税優遇を15%に広げる。国内投資を喚起して成長を後押しする。

◆政府、日本版DOGEを発足 27年度の税・予算に成果反映

・政府は高額な補助金や租税特別措置(租特)と呼ばれる政策減税、基金を点検する担当室を内閣官房に設けたと発表した。日本版の「政府効率化省(DOGE)」と位置づけ、片山さつき財務相が担当閣僚に就く。2027年度の予算編成や税制改正に向け、26年から本格的に稼働する。

◆マイカー通勤手当の非課税、駐車場代も対象に 政府・与党調整

・政府・与党はマイカー通勤者が勤務先から受け取る手当の非課税制度で、2026年度から駐車場代も対象に加える調整に入った。通勤距離の区分は現在よりも長い階層を設ける。長距離通勤者の税負担が増えないようにして、企業の広範囲からの人材採用を後押しする。年末にまとめる税制改正大綱に制度の拡充を盛り込む。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆都が「とちよう電力プラン」の募集開始 卒FIT電力買取で上乗せ

・東京都は再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT制度)の買取期間が満了したいわゆる「卒FIT」の住宅用太陽光発電設備の所有者から余剰電力を買い取る「とちよう電力プラン」(2025年度分)で募集を開始。出光興産が供給事業者となり、通常の買取価格9.5円/kWhに都が1.5円/kWhを上乗せし、計11円/kWhで買い取る制度。

◆東京23区の新築マンション、海外からの取得3.5% 高騰への影響注視

・東京23区の新築マンションを巡り、海外に住所がある人が取得した割合は2025年1～6月に3.5%だったことが国土交通省の調べでわかった。同省が不動産登記に基づく調査結果を公表した。大阪市では4.3%だった。不動産価格の高騰を引き起こしているとはみられないものの、国交省は動向を注視している。

◆YKK APとパナ、ペロブスカイトのBIPV実装検証を開始

・YKK APとパナソニックHDは大阪市の谷町YFビルでガラス型ペロブスカイト太陽電池を組み込んだ内窓による建材一体型太陽光発電(BIPV)の実装検証を開始した。内窓へのガラス型ペロブスカイト太陽電池の実装検証は国内初となる。今回使用するガラス型ペロブスカイト太陽電池は、パナソニックHDが開発中の試作品。

《 注目商品 》

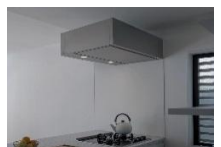
■TOTO、造作風洗面化粧台に新アイテム・新色を追加

・洗面ボウル、水栓金具、カウンター、鏡、キャビネットを組み合わせる造作したようなデザインを実現できる洗面化粧台「drena(ドレーナ)」を4年ぶりにモデルチェンジして発売。洗面台下に新たに「オープンキャビネット」をラインアップ、効率よくモノを出し入れできる。



■TOOLBOX、ペニンシュラキッチン専用レンジフード「フラットサイドフード」

・リビングと一体的なペニンシュラキッチンに特化したオリジナル設計で袖壁や大きなダクトカバーのない天井面が空間の広がり演出。パワーが強力なシロッコファンを内蔵した上で本体サイズを最小限の寸法に抑え、整流板スリットにより浮遊しているようなデザインを実現。



■ミラタップ 浮遊感を演出するスチールフレーム付き洗面

・9年連続1番人気のコンパクトな洗面ボウルとオリジナルフレームを組み合わせた洗面セット「エレガンスフレーム洗面」を発売。スチールパイプ製のフレームは丸みを帯びた柔らかな形状が特徴。浮遊感のある見た目で、フレーム下部はタオル掛けを兼ねる。

